



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 イーピーエス株式会社

コード番号 4282 URL <http://www.eps.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 折橋 秀三

TEL 03-5684-7797

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	8,200	15.8	1,079	29.3	1,051	22.6	553	155.8
23年9月期第1四半期	7,082	2.8	834	△29.8	857	△28.4	216	△67.4

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 671百万円 (127.5%) 23年9月期第1四半期 294百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	3,095.56	—
23年9月期第1四半期	1,210.18	1,205.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	23,695	16,735	60.1
23年9月期	23,399	16,424	59.7

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 14,229百万円 23年9月期 13,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	1,600.00	—	1,900.00	3,500.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	1,600.00	—	1,900.00	3,500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,990	11.1	1,956	△1.6	1,932	△3.1	841	17.5	4,705.18
通期	35,070	9.5	4,824	0.4	4,795	0.1	2,255	3.9	12,612.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	180,800 株	23年9月期	180,800 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	1,974 株	23年9月期	1,974 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	178,826 株	23年9月期1Q	178,826 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、「添付資料」P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産実績	11
(2) 受注実績	11
(3) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成23年10月1日から平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興と復旧の過程にあり、おおむねプラス要因に働くものの欧州の財政金融不安等からくる欧州経済の低迷、急激な円高、タイの洪水、雇用不安、個人消費の低迷等により、依然景気の先行きは、予断を許さない状況にあります。こうした中で当社が属するCRO(医薬品開発業務受託機関)業界及び連結子会社である株式会社イーピーメントが展開しているSMO(治験施設支援機関)業界は、堅調に成長を続けております。株式会社ファーマネットワーク等が展開しているCSO(医薬販売受託機関)業界は、海外からの大手競合の参入もあり、競争が激化しておりますが、市場は堅調に拡大しております。またイートライアル株式会社が展開しております医薬・医療系IT業界につきましては、当社とのシナジー効果により堅調に推移しております。

CRO関連事業につきましては、当社を中心に展開しております。

当社においては、モニタリング業務につきましては、開発段階の試験及び製造販売後臨床試験共に抗がん剤、糖尿病、高血圧、中枢神経治療薬試験を中心に各プロジェクトは順調に推移しており、前年同四半期連結累計期間と比較し増収となっております。

データマネジメント業務、統計解析業務、メディカルライティング業務、安全性情報業務、登録・進捗管理業務につきましては、既存プロジェクトの遂行、新規プロジェクトの獲得に傾注しております。登録・進捗管理業務につきましては、新規プロジェクトの受託時期のずれ等により前年同四半期連結累計期間と比較し減収となっておりますが、データマネジメント業務、統計解析業務、安全性情報業務、メディカルライティング業務につきましては堅調に推移しており、前年同四半期連結累計期間と比較し増収となっております。

以上の結果、当社個別ベースで見ますと、前年同四半期連結累計期間と比較し増収増益となっております。

連結子会社に関して、国内では派遣型CRO業務を行う株式会社イーピーメントは、引続き当社及び製薬会社を中心に事業展開を図っており、前年同四半期連結累計期間と比較し増収となりましたが、人材確保のための先行投資的費用が発生したために減益となりました。

またジェネリック医薬品を対象としたCRO業務と薬剤分析業務を中心に展開しております株式会社SCGは、受注案件の推進と当社グループとのシナジー効果を追及しつつ新規受注獲得に傾注しております。

非臨床業務を行うエルエスジー株式会社グループは、成長性のある分野を付加して業務拡大を図っておりますが、主要な製品である研究用動物の市場において引続き過剰供給による受注不振のため、前年同四半期連結累計期間と比較し減収減益となりました。

BPOサービスを展開するEMS株式会社は、受注案件の遂行と益新(中国)有限公司への外注を拡大する体制を整備してまいりました。

海外CRO業務に関しては、当社の事業部であるグローバルリサーチカンパニーと連携して益新国際医薬科技有有限公司を中心に中国その他アジア・パシフィック地域における臨床試験サービスをより実効性のある体制への整備を図ってまいります。

中国ビジネスを推進している益新(中国)有限公司については、平成23年10月に医療系データマネジメント業務等のBPOサービスを専門に受託することを目的に株式会社InfoDeliverの子会社である益徳穿梭科技(大連)有有限公司と合弁により益新健康科技服務(蘇州)有有限公司(出資比率60%)を設立し、受託体制を整備しており、また創薬業務の推進、ヘルスケア商材についても稼働準備を進めてまいります。

その結果、CRO関連事業として連結売上高は5,232百万円(前年同四半期連結累計期間比16.1%増)となり、連結営業利益は740百万円(同20.0%増)と増収増益となりました。

SMO関連事業につきましては、株式会社イーピーメントと全面顧問股份有限公司(台湾台北市)において展開しております。

株式会社イーピーメントは、提案型営業及び支店別損益マネジメントを推進し、新規受注の獲得と受託案件の遂行に注力し、受注体制及び管理体制の充実を図っており、前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりましたが、今後の業容の拡大に資するため人材確保等の先行投資を行ったことにより大幅な減益となっております。また同社は、受託業務拡大の為、平成23年10月にSMO事業を行っている株式会社エスメディサの株式を譲受により子会社(持分比率90.93%)としております。一方、台湾においては全面顧問股份有限公司が、当社グループと協業しながら新規案件の獲得に傾注しております。

その結果、SMO関連事業として連結売上高は1,376百万円(前年同四半期連結累計期間比15.8%増)と増収となりましたが、連結営業利益は99百万円(同66.7%減)と大幅な減益となりました。

CSO関連事業につきましては、株式会社ファーマネットワークと株式会社メディカルラインにおいて展開しております。

株式会社ファーマネットワークは引続き受注体制の整備を行いつつ、受注案件の確実な遂行と、新規案件の獲得に傾注し、前年同四半期連結累計期間と比較し大幅な増収となっております。

また株式会社メディカルラインは、医薬・医療・ヘルスケアの業界向けD I（医薬品情報管理）業務とヘルスケアサービス業務を中心に新規受注獲得に傾注し、前年同四半期連結累計期間と比較し増収となりました。

その結果、CSO関連事業として連結売上高は 1,590 百万円（前年同四半期連結累計期間比 43.5 %増）と大幅な増収となり、連結営業利益は 231 百万円（前年同四半期連結営業損失 44 百万円）と黒字化いたしました。

医薬・医療系IT関連事業につきましては、主にイトライアル株式会社において展開しております。

イトライアル株式会社は、EDC（Electronic Data Capturingの略で、インターネットを利用した臨床試験に関わる電子情報収集システム）を中心に新規案件の受注獲得を推進し、前年同四半期連結累計期間と比較し増収となりました。

往來軟件（北京）有限公司は、医薬・医療系ITサービスに事業転換を図りつつ、経費削減をしております。尚、当関連事業において主力でありましたオーライソフトウェア株式会社及び青島恒遠天地軟件技術有限公司は、前年第3四半期において事業再編を行い、当社グループ外としました。

その結果、医薬・医療系IT関連事業として連結売上高 83 百万円（前年同四半期連結累計期間比 75.8 %減）と大幅な減収となりましたが、連結営業利益は 2 百万円（前年同四半期連結営業損失 48 百万円）と黒字化いたしました。

上記のセグメント毎の連結売上高及び連結営業利益は、セグメント間の内部取引を含めて記載しておりますのでそれを控除した結果、当連結売上高は 8,200 百万円（前年同四半期連結累計期間比 15.8 %増）、連結営業利益は 1,079 百万円（同 29.3 %増）、連結経常利益は 1,051 百万円（同 22.6 %増）と増収増益となり、連結四半期純利益は 553 百万円（同 155.8 %増）と大幅な増益となりました。

その主な理由として前年同四半期連結累計期間に資産除去債務に関する新会計基準が導入されたことにより過去の資産除去債務の調整が特別損失で計上されたためであります。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末における総資産は、23,695 百万円と前連結会計年度末から 296 百万円増加致しました。

流動資産では、主に現金及び預金が 334 百万円、仕掛品が 225 百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が 550 百万円、その他流動資産が 303 百万円それぞれ減少したことなどにより 293 百万円減少して 17,584 百万円となりました。固定資産では、主として有形固定資産が 306 百万円、のれんが 210 百万円それぞれ増加したことなどにより 589 百万円増加して 6,111百万円となりました。

負債の部においては、主に短期借入金が 1,000 百万円増加した一方で、未払法人税等が 1,178 百万円減少したことなどにより、当四半期末における負債合計は 6,960 百万円と 14 百万円減少致しました。

純資産の部では、主に利益剰余金が 213 百万円、為替換算調整勘定が 50 百万円、少数株主持分が 42 百万円それぞれ増加したことなどにより、当四半期末における純資産の部は 310 百万円増加して 16,735 百万円となりました。

キャッシュ・フロー状況においては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が 1,119 百万円となり、売上債権の減少が 611 百万円、その他流動負債の増加が 890 百万円となった一方で、賞与引当金の減少が 725 百万円、たな卸資産の増加が 244 百万円、法人税等の支払による支出が 1,306 百万円それぞれあったことなどにより 283 百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は 1,336 百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に有形及び無形固定資産の取得による支出を 279 百万円行ったことなどの結果、268 百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比 67 百万円減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにおいては、主に短期借入金の実行で 1,045 百万円の収入があった一方で、長期及び短期借入金の返済を 430 百万円、株主及び少数株主に対する配当金の支払を 356 百万円行ったことなどにより、280 百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比 124 百万円増加）となりました。

以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は 8,961 百万円（前年同四半期連結累計期間比 2,686 百万円増加）となりました。

なお、連結キャッシュ・フロー関連の主な数値は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,336,715	283,444
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△336,480	△268,928
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	156,525	280,803
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,411	38,539
V. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,531,081	333,858
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	7,805,981	8,627,744
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	6,274,899	8,961,602
減価償却費	56,984	66,031
のれんの償却額	39,518	50,517

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災の復興・復旧の投資が本格化していくことが見込まれるものの欧州の財政金融不安等に基因する景気の後退、長期的な円高、設備投資の低迷、雇用不安、個人消費の低迷等により、依然景気の先行きは、予断を許さない状況が続くと予想されます。

CRO関連事業に関して当社は、モニタリング等の臨床開発を行う臨床開発本部、データマネジメント、統計解析、登録・進捗管理、メディカルライティング、安全性情報サービス等の業務を行う臨床情報本部の両本部を中心に、新規事業に係わる企画立案・サービス、医療機器関係の臨床開発を行う臨床研究推進センターと共に、営業本部と連携を強化して新規受託の獲得を推進してまいります。海外の臨床試験の受注活動を推進するグローバルリサーチカンパニーは、グループ会社と連携して受託体制の整備と新規案件の受注獲得を推進してまいります。

中国ビジネスの拡大を図る中国事業本部は、日本企業及び中国企業との連携を進め、中国に拠点を有するグループ企業と共にオフショア案件サービスのBPOの拡大、ヘルスケア商品の中国市場への導入、中国における医薬品の開発・申請・販売の推進を図ってまいります。

連結子会社に関して、国内では派遣型CRO業務を行う株式会社イーピーメイトは、引続き当社及び製薬会社を中心に事業展開を図ってまいります。

また、ジェネリック医薬品を対象としたCRO業務と薬剤分析業務を中心に展開する株式会社SCGは、引続き受注案件の確実な遂行と当社グループとのシナジー効果を追及しつつ新規受注獲得に傾注してまいります。

BPOサービスを展開するEMS株式会社は、受注案件の遂行と益新(中国)有限公司への外注を遂行する体制を整備してまいります。

海外CRO業務に関しては、益新国際医薬科技有限公司を中心に中国その他アジア・パシフィック地域における臨床試験サービスをより実効性のある体制へと整備を図り、事業拡大を目指してまいります。上海日新医薬発展有限公司、EPSシンガポール、EPS香港、EPS韓国については、益新国際医薬科技有限公司の傘下に保有する方向で再編を進め、当社の国際治験の受託を推進するグローバルリサーチカンパニー(事業部名)との協働によるシナジー効果を図りながらアジアの受託案件の確実な遂行と新規受託案件の獲得に傾注してまいります。

中国ビジネスを推進している益新(中国)有限公司については、中国事業本部と連携して引続き創薬業務、ヘルスケア商材を扱う商事業務の稼働とその人材の確保といった準備を推進してまいります。その子会社である益新健康科技服務(蘇州)有限公司は、データマネジメント業務のBPO業務サービスが稼働し始めましたが、引続き中国事業本部と連携し、業務拡大を目指してまいります。

非臨床業務を行うエルエスジー株式会社グループは、既存業務の新規受注案件の獲得と新たなサービスを模索し、成長性のある分野を付加して業務拡大を図ってまいります。

SMO関連事業を行う株式会社イーピーメントは、提案型営業を進め、受注体制の充実を図り、新規受託の獲得と受注案件の確実な遂行を図ると共に子会社の株式会社エスメディサとの連携方法の見直しを行ってまいります。また、台湾においては全面顧問股份有限公司が、当社グループと協業しながら新規案件を獲得してまいります。

C S O関連事業においては、株式会社ファーマネットワークが引続き受託体制整備を進めながら受託案件の遂行と新規案件の獲得に傾注し、業績拡大を図ってまいります。

また株式会社メディカルラインは、医薬・医療・ヘルスケアの業界向けD I（医薬品情報管理）業務とヘルスケアサービス業務を中心に新規受注獲得に傾注してまいります。

医薬・医療系 I T関連事業を行うイートライアル株式会社は、E D Cを中心に、新規サービスを模索しながら新規案件の受注獲得を推進してまいります。

往来軟件（北京）有限公司は、医薬・医療系 I Tサービスに事業転換を図ってまいります。

これらにより平成24年9月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績見通しは、平成23年11月7日に発表しました予想数値を変更いたしません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

【追加情報】

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,639,979	8,974,312
受取手形及び売掛金	6,968,466	6,417,909
商品及び製品	379,976	380,873
仕掛品	467,760	693,220
その他	1,425,294	1,121,822
貸倒引当金	△3,998	△4,054
流動資産合計	17,877,479	17,584,084
固定資産		
有形固定資産	1,432,529	1,738,539
無形固定資産		
のれん	553,851	764,640
その他	307,174	304,588
無形固定資産合計	861,025	1,069,228
投資その他の資産		
投資有価証券	459,200	479,300
敷金及び保証金	1,266,543	1,293,096
その他	1,502,735	1,531,585
投資その他の資産合計	3,228,479	3,303,982
固定資産合計	5,522,035	6,111,750
資産合計	23,399,514	23,695,834
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,066	230,468
短期借入金	15,000	1,015,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	1,331,746	152,906
賞与引当金	965,596	243,459
受注損失引当金	112,700	90,000
その他	2,247,035	3,262,688
流動負債合計	5,058,144	5,094,522
固定負債		
長期借入金	900,000	850,000
退職給付引当金	418,490	434,262
役員退職慰労引当金	267,753	213,562
資産除去債務	245,232	267,431
その他	85,553	101,051
固定負債合計	1,917,030	1,866,307
負債合計	6,975,174	6,960,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,251	1,875,251
資本剰余金	1,826,300	1,826,300
利益剰余金	10,820,222	11,034,020
自己株式	△317,258	△317,258
株主資本合計	14,204,516	14,418,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62,593	△58,123
為替換算調整勘定	△180,589	△130,203
その他の包括利益累計額合計	△243,183	△188,327
少数株主持分	2,463,006	2,505,018
純資産合計	16,424,339	16,735,004
負債純資産合計	23,399,514	23,695,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	7,082,368	8,200,797
売上原価	4,917,767	5,441,935
売上総利益	2,164,601	2,758,862
販売費及び一般管理費	1,329,939	1,679,349
営業利益	834,661	1,079,512
営業外収益		
受取利息	2,235	1,781
持分法による投資利益	9,743	—
その他	20,156	12,360
営業外収益合計	32,135	14,142
営業外費用		
支払利息	1,312	6,773
為替差損	7,140	23,611
その他	404	11,600
営業外費用合計	8,858	41,986
経常利益	857,938	1,051,668
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,171
補助金収入	—	61,732
保険解約返戻金	13,611	—
その他	3,100	—
特別利益合計	16,712	67,903
特別損失		
固定資産除売却損	14,194	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	125,400	—
その他	2,600	—
特別損失合計	142,194	—
税金等調整前四半期純利益	732,455	1,119,572
法人税、住民税及び事業税	56,363	154,925
法人税等調整額	405,896	340,204
法人税等合計	462,259	495,129
少数株主損益調整前四半期純利益	270,196	624,442
少数株主利益	53,785	70,875
四半期純利益	216,411	553,567

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	270,196	624,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,466	4,470
繰延ヘッジ損益	△29	—
為替換算調整勘定	△11,886	39,751
持分法適用会社に対する持分相当額	△750	2,434
その他の包括利益合計	24,799	46,656
四半期包括利益	294,995	671,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	237,980	608,423
少数株主に係る四半期包括利益	57,015	62,675

(3) 【継続企業の前提に関する注記】

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額(注) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	CRO関連 事業(千円)	SMO関連 事業(千円)	CSO関連 事業(千円)	IT関連 事業(千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,498,389	1,188,559	1,108,222	287,197	7,082,368	—	7,082,368
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,544	360	290	59,242	69,437	(69,437)	—
計	4,507,934	1,188,919	1,108,512	346,439	7,151,805	(69,437)	7,082,368
セグメント利益	617,905	299,137	(44,362)	(48,092)	824,588	10,072	834,661

(注) セグメント利益の調整額 10,072 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額(注) (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	CRO関連 事業(千円)	SMO関連 事業(千円)	CSO関連 事業(千円)	IT関連 事業(千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,209,923	1,375,592	1,585,622	29,659	8,200,797	—	8,200,797
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,348	642	5,265	54,055	82,312	(82,312)	—
計	5,232,272	1,376,235	1,590,887	83,714	8,283,110	(82,312)	8,200,797
セグメント利益	740,836	99,708	231,693	2,540	1,074,779	4,733	1,079,512

(注) セグメント利益の調整額 4,733 千円は、セグメント間取引消去等の調整額であります。

(5) 【株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記】

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日) (千円)	前年同期比(%)
CRO関連事業		
モニタリング業務	2,696,897	119.1
データマネジメント業務	2,094,878	113.1
CROその他業務	727,550	144.1
CRO関連事業計	5,519,327	119.4
SMO関連事業	1,373,930	115.7
C/SO関連事業	1,584,792	142.8
I/T関連事業	88,586	24.7
合計	8,566,636	117.7

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
CRO関連事業				
モニタリング業務	3,804,413	322.0	18,262,558	203.7
データマネジメント業務	1,848,378	107.8	13,646,479	96.5
CROその他業務	912,408	185.7	1,265,491	195.4
CRO関連事業計	6,565,200	193.8	33,174,530	139.7
SMO関連事業	2,834,814	206.4	8,046,928	161.6
C/SO関連事業	2,807,024	142.0	5,453,067	123.4
I/T関連事業	323,281	36.5	449,526	43.5
合計	12,530,321	164.4	47,124,052	137.8

- (注) 1. 金額は販売価格で記載しております。
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

区分	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日) (千円)	前年同期比(%)
CRO関連事業		
モニタリング業務	2,660,892	118.9
データマネジメント業務	1,824,830	103.7
CROその他業務	724,200	144.7
CRO関連事業計	5,209,923	115.8
SMO関連事業	1,375,592	115.7
CSO関連事業	1,585,622	143.1
IT関連事業	29,659	10.3
合計	8,200,797	115.8

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。